



会報

シルバー

公益社団法人 大館市シルバー人材センター

おおだて

大館市字扇田道下6番地10 電話49-4088



大館アメッコ市：アメッコ市の飴を食べると風邪をひかない、と言い伝えられている。



12月末現在会員数

男性	423人
女性	164人
計	587人

※前年比10人増

大館	434人
田代	81人
比内	72人

本年もよろしく
お願い申し上げます

他職員一同

監事	監事	監事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	常務理事 兼事務局長	副会長	会長
岩間	田中	中山	木越	浅利	本間	安田	三上	嶋山	伊藤	菅原	安達	浦義		三浦	鳴海
久子	瑞穂	正三	惠操	二雄	鉄郎	鏝介	文弘	壽子	アヤ子	明裕	公正	剛衛			

謹賀新年

新年のご挨拶



会長
鳴海 義衛

会員の皆様、お健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、金足農業高校野球部が、夏の甲子園大会で秋田県勢として百三年ぶりに準優勝。その堂々とした戦いぶりは全国に金農旋風を巻き起こし、痛快で清々しい気分になさせていただきました。

さて、秋田県がまとめた最新の「年齢別人口流動調査」によると、十五歳から六十四歳までの「生産年齢人口」の割合は五三・六％で、統計開始以来最低を更新。一方、六十五歳以上の「高齢化率」は三六・四％で、秋田県が全国一位の高齢県になっていきます。加えて出生数は毎年前年割れ。労働力人口が急激に減少し、今後どのように働き手を確保するか、大きな課題となっています。

課題解決の一つとして、近頃は高齢者の活用に熱い視線が送られています。これまで私たち高齢者は、社会から「支えられる側」とされてきましたが、そうではなくて、「元気なうちは「支える側」に回っ

てほしいということですが。

社会を支える高齢者団体と言えば、何と言つても「シルバー人材センター」でしょう。働き手確保の担い手として、地域社会にとつて欠かせない存在となっております。しかし、だからと言つてそこに安住するわけには参りません。

必要とされ続けるためには会員を増やして組織を拡大しなければなりません。会員の皆様、シルバー事業の一員であることに自信と誇りを持っていただき、会員確保に一人一人の力を貸して下さい。

ここで月刊シルバー人材センターの記事で、「さわやか福祉財団」の堀田力会長が、高齢者の生きがいについて語られた一部を紹介いたします。「持つて生まれた自分の能力を発揮するのは快感なのである。『誰かの役に立っている』と実感することが生きる喜びにつながる」と語っています。また、「高齢になっても働き続けるのは、基本的に楽しいから。『この活動を続けていないと元気がなくなってしまう』と自分で分っているからやっている」とも語っています。正しくその通りだと思えます。

会員の皆様、今年一年、健康と安全に留意し、人手不足の事業所や農業支援に、或いは高齢者の生活支援などに、楽しく元気に、そして存分に活躍して下さい。

新年のご挨拶



大館市長
福原 淳嗣

新年 あけましておめでとございます。

大館市シルバー人材センターにおかれましては、「自主・自立」「共働・共助」の基本理念のもと、地域社会において重要な役割を担う団体として、活発な事業活動を継続されており、会長はじめ事務局、そしてすべての会員の皆様に敬意を表します。

さて、日本老年学会は、医療の進展や生活環境の改善により、十年前に比べ身体の動きや知的能力が五〜十歳は若返っており、高齢者の定義を六十五歳以上から七十五歳以上に見直す提言を発表しました。この状況を裏付けるように、スポーツ庁の「平成二十九年 体力・運動能力調査報告」では、七十歳以上の男性と六十五歳以上の女性が過去最高を記録する結果となり、六十五〜七十九歳の男女の体力は、向上傾向にあるということです。団塊の世代の方々が退職を迎えられてから十年が経過するところですので、この世代を中心に体力年齢が若返っている

ことが伺えます。

時代は、これからますます就業意欲や技能に溢れた高齢者の皆さまが重要な役割を担う、生涯現役活躍社会へと進もうとしています。

こうした状況のなか、皆さまは、ワンコインサービスや空き家管理といった新たな事業により、地域課題の解決に取り組まれており、着実に生涯現役活躍社会の実現へと踏み出す力を蓄えているものと認識しております。

今年の干支は「己亥」（つちのとい）です。種が発芽に備え、エネルギーを蓄えている状態を示すそうです。言い換えると、成熟した組織が足元を固めて次の段階を目指す準備をする時期に当たり、皆さまの今の状況を示していると思います。

干支が示す、勇躍に向けた重要な年となる本年、活力ある高齢者の地域における活躍の要として、会員の拡大と就業機会の向上に一層努めていただくようお願いし、市としてもそうした活動を支援して参りたいと考えています。

結びに、今年一年の大館市シルバー人材センターに携わる全てのかたのご健勝とご活躍を願うとともに、生涯現役活躍社会に向けてともに取り組むことをお誓いし、新年のご挨拶とさせていただきます。

「会員になりました」



十八班
千葉 誠

私がシルバー人材センターの会員になったきっかけは、地域の親しい人がシルバーで頑張っていて、その方からいろいろな経験や情報を聞いて興味を持ったからです。

平成三十年三月まで、郵便局に四十二年間勤務しておりました。退職後の第二の人生は、余暇を楽しみ晴耕雨読の日々をゆつくり過ごすつもりでした。しかし年金は生活費で消えてしまおうし、畑もさほど広くなかったので時間的な余裕が増えて家でゴロゴロしている時間が多くなり、身体もどんどん衰えて行くばかりでした。

一ヶ月経過した頃、そんな状況に耐えきれなくなり、何か仕事を見つければとハローワークに行きました。その時にシルバー人材センターの相談会があったので、早速説明を受けて会員になることを決めました。郵便局時代、採用当

初は配達も経験しましたが、その後は事務職で机に向かつての仕事が多かったです。そこで、シルバーの仕事は身体を動かす内容の仕事我希望しました。

最初の仕事は、二井田地区の「安達さん」の田植えの手伝いでした。主に田植え機に苗を続ける作業ですが、身体を動かす労働経験の少ない私にとっては大変な激務でした。幸いシルバーの優しい先輩会員がいたし、安達さん家族が大変良い方だったので、何とか頑張れました。このような作業もあってお米ができることを知り、新しい発見ばかりでした。

次に紹介されたのは「アグリ川田さん」の枝豆の選別作業でした。ベルトコンベアで流れてくる枝豆の中から形の悪いものや雑草を取り除く作業で、これも肉体労働なので大変でした。

その次は「十字屋キリタンポさん」です。こちらでの作業はいろいろあり、今まで経験のない作業ばかりで肉体的にもきつい作業が多かったです。郵便局時代は、精神的な厳しさはあったものの肉体的には楽な仕事が多かったので、余計きつく感じたのだと思います。裏方の厳しい作業があつて美味

しいものが食べられるのだと、知ることができました。郵便局でも完成品をチラシで販売するなどしておりましたが、商品ができるまでの裏側を経験し、大切な商品を支えて頑張っている方々が大勢いることを改めて認識できました。

大館市シルバー人材センターの会員数はもう少して六百人になります。事務局の苦労も大変なものがあると思いますが、新しいことに挑戦できるチャンスをいただき感謝しております。

日々先輩達のシルバー世代パワーに圧倒され続けております。シルバー人材パワーで大館から世界を動かしていきたいでしょう！

高齢者向け
調理講習を受講して



二十四班
野呂 静子

シルバー人材センターに入会したのは昨年の十月です。まだ、三ヶ月ほどの新人です。



いつもと勝手が違う調理です

五十年近く数社で事務や営業など勤めてきましたが、二十三年間勤めた生命保険会社を最後に、三月末で定年を迎えることができました。現職の頃から「何か趣味を…」と思いつけながらも、仕事柄なかなか時間の余裕も作れずにおりました。シルバー人材センターには主人も会員になっていることもあり、少なからず社会に貢献している姿を見て自分も加入しようと思えました。

そんな中、シルバー人材センターから、十一月二十六日と二十七日の二日間、「高齢者向け調理

講習」があるとの案内をいただき、少し興味もあつて参加いたしました。会員の皆様との交流は初めてのことで、とても緊張しましたが先輩会員から声を掛けられ、仲良く話をすることができました。

座学と調理実習の講習でしたが、実習はグループごとに別れての作業となり、特に講師の先生からは高齢者向けというのもあつて、塩分を控えて体にやさしい、そして身近で揃う材料や調味料を使った料理でなくてはならないと教えられました。簡単に健康に良い八品の献立で、調理後は会員の皆さんと、とても美味しくいただきました。

後日、そのメニューの中から選んで調理し、家族に食べてもらいました。私が作るのは何時も決まりきった調理だったので、色彩や変化のある味がとても好評でした。高齢者はもちろんですが、健康を考へて各家庭でも作られたらとても喜ばれると思います。十三名の会員（一般の方を一名含む）による二日間の講習でした。

会社勤めをしていた時とはまた違う協調性や信頼性などを楽しく学ぶことができ、実のある勉強をさせていただきました。これから

も前向きにいろいろな挑戦したいと思えます。

交通安全講習を受講して



五班
虻川 清昭

昨年十月、強制的？でありましたが、高齢者が関係する死亡事故が多発していることもあり、「安全運転講座」を受講しました。

最初は「安全運転サポート車」への体験同乗で、ゆっくり走つて看板の手前で自動的に止まることと看板に向かってアクセルを踏み込んでも、車が前進しないことを確認しました。

パンフレットによると、このサポート車は自動運転車ではなく、あくまでも駐車場などでのクリープ走行時、スタート時のアクセルとブレーキの踏み間違ひによる事故を軽減するためのシステムとのことであり、通常走行時に障害物や人を検知した時に自動的に止ま

るシステムではないそうで、結局は運転者一人一人にかかっていることだと思えました。



障害物を感知し自動でストップ！

昨年七月現在で、事故件数が減っているのに死者数が増えている、そのうちの高齢者が関わる運転中または歩行中、自転車乗車中の死者は六十三・六%になつています。

若い時と違い、頭・目・耳・身体の動きも鈍くなつていることを認識して、自分は大丈夫だと思わないで、自分のことを正直に知ることが大事だと思います。

話しは変わりますが、その高齢者の集団であるシルバー人材センターに私が入会した理由は、早く

入会して慣れ親しんだ方が得策かなと思つたからです。

最初は、二年ほど農業関係の仕事をしました。が、農業が嫌いでサラリーマンになったのに、悲しいかな体が覚えてくるよう。で、なんとかやり遂げることができました。その後、刈払い班の仲間に入り、若手として頑張っています。

仕事はキツイですが！、前日に休みを願い出ると、快く？了承してくれるので、それにより趣味（ウォーキング）の参加、各団体の行事・会議の出席等に活動をさせていただいております。

どの団体でも高齢化とそれによる人手不足が顕著で、今の状況を充分に理解しながら活動を続けて行きたいと思つています。もちろん、シルバーの仕事も頑張ります。



会員紹介「年男・年女」

今年の干支は…「亥」

年男、年女の会員に、

- ①趣味や特技…
 - ②今年の目標や抱負…
 - ③最近嬉しかった事…
- などについて伺いましたので、ご紹介いたします。



十五班
伊藤 元子

- ①人との会話(おしゃべり大好き)
 - ②健康で元気で、シルバー会員の方々と笑って過ごしたい。
 - ③孫(中学一年生の女の子)から、「ばあさん、私が結婚するまでと、その後もずっとずっと長生きしてね!」と言われて、それはそれは嬉しいこと…。
- 常に身だしなみを整え、悠々と家族と一緒に毎日を楽しく暮らしたいです。



二十四班
菅原 明裕

- ①人様の前で「歌をうたうこと」を一番の楽しみにしています。
 - ②健康第一です。食事と運動のバランスに気を使っています。
 - ③また、カラオケ全国大会で今度こそ良い成績をと夢見ています。
- 十一月に秋田市で開催された「秋田県種苗交換会」のイベントとして行われたカラオケ大会で大賞をもらったこと。



十九班
木村 明夫

- ①ゴルフ。ゲートボール。ユニカー。庭いじり。家庭菜園。
- ②多彩な趣味とクラブ活動で、高齢のせいか疲れやすくなった。家内は「そろそろ…」と言ったが、共遊した友と会えなくなるのが淋しいので今年も頑張りたい。
- ③鶏の世話から始まり、アユの養殖、庭の手入れ、家庭菜園と、

小規模だが日々の成長が楽しみ。また、菜園同志のババちゃん方と作り方などの情報交換や娘と孫達のはしゃぎながら収穫する光景が一番。何時まで続けられるか…?



十三班
浅利 徳蔵

- ①スポーツ観戦、特に野球観戦と山菜採り。
- ②シルバーに入会して十七年になります。センター職員笑顔と仲間の会員たちのお蔭で長い道のりを超えられました。また今年も力を貸してください。健康に気を付けて頑張ります。
- ③東京の孫達から「秋田のおじいちゃん、こんな歳になつたなんて信じられない」と言われた時は、何にも言えずに笑いましたが嬉しかったです。



二十班
小林 光子

- ①手芸。小物などを作るのが好きです。また、園芸も好きで特に花が中心です。
- ②健康第一、元気で頑張りたい。
- ③三泊四日の旅行をした事です。ちなみに国内ですけど。それから、県外に暮らす孫と一年ぶりに会えたことです。



二十班
木村 利夫

- ①若い頃から盆栽が好きで、枝作りや針金掛けなどやっておりましたが、年齢を重ねるごとに大変になりました。今は五十キ口圏内で滝の写真撮りに出かけています。
 - ②身体が動くうちはシルバーで働きたいと思っています。宜しくお願致します。
- また、今年こそはシルバー行事に全て出ようと思っています。

③六月に孫の結婚式が有りました。ひ孫に会えるかと、楽しみです。



十六班
佐藤 厚子

①カラオケ。読書。
②健康で笑顔で、日々生きて参りたいです。
③娘夫婦と一緒に北海道旅行に行ってきました。



十八班
金山 ヨシ子

①小さな庭にハーブと山野草を植え、お茶にしたり花を愛でたりして楽しんでいきます。
②健康維持のためラジオ体操、スクワットを朝夕に。
悔いることのない日々を過ごすこと(一生懸命)。
③子、孫が成長したことが、新しい人との出会いが楽しみ。弟が元気で帰省したこと。

人から真心と優しさをたくさん頂いたこと。
夏の甲子園高校球児から感動と元気を頂いたこと。



十三班
伊多波 キ又

①山歩き。野菜作り。
②山歩きを続けて健康に気を配ること。
③昨年一年間、健康で過ごせたこと。



十八班
大森 政雄

①山菜採り。週に二回小学生に剣道の指導をすること。
②今年も元気に働きたいです。食事、運動に努力し、草刈り班で頑張ります。
③剣道の市民大会に、指導している子供の五人が出場。うち四人がメダル入賞し、二年生の孫が準優勝したことです。



二十四班
高橋 スメ

①家庭菜園。山菜採り。
②何事もなく健康に過ごせること。
③除草班の「お楽しみ会」に参加できたこと。



二十四班
根本 茂人

①歌、特に民謡。
毎年のように出演していた「日本武道館」に、病気のため出られなかったことが残念。
②七十歳を過ぎたら急に衰えを感じました。元気で過ごせるよう願うばかりです。
③孫が作文で全国表彰されました。

亥年生まれの会員は、八十四歳の方が九名、七十二歳の方が五十二名在籍しています。誌面の関係上全員ご紹介できず申し訳ございません。良い年になりますように。

田代「寿会」しめ飾り寄贈

今年も田代「寿会」様から、センター事務所玄関を飾る「注連縄」を寄贈していただきました。(寿会の皆様が丹精込めて作られた立派なしめ飾りです。)
お陰様で会員・役職員一同、清らかな気持ちで新年を迎えることができました。



「寿会」の皆様、ありがとうございました。

県北地域シルバー
役員研修会



副会長
三浦 剛

昨年の十月十五日、秋田県シルバー人材センター連合会主催の「平成30年度県北地域シルバー人材センター役員等研修会」がホテルクラウンパレス秋北で開催されました。

研修会には全シ協、県シ連、能代市シルバー、北秋田市シルバー、鹿角地域シルバー、大館市シルバーから総勢37名の参加者があり、大館は鳴海会長以下全役員が参加し午後1時から5時まで、以下の題名で講師のお話しを拝聴いたしました。

1. 「公益法人役員の役割と責任について」
NR社 兼 永敏博氏
2. 「シルバー人材センターの発展に向けた役員の役割について」

3. 「秋田県におけるシルバー人材

センター事業の現状と課題

県シ連 茂木重雄氏

講師の説明は資料をスクリーンに映してのお話しで、とても簡潔で分かり易かったです。

この研修会で学んだ「役員としての責任と役割」や「シルバー事業運営の現状と課題」などの認識を深め、これからの理事会運営に役立てたいと思います。



熱心に聞き入る役員の皆さん

新会員紹介

美濃山 裕子
伊藤 親憲

三班 三班

・以上、七月以降に二十七名の方が新しく仲間入りしました。

野呂 静子	立石 節子	立石 弘之	曲田 源市	佐藤 洋子	細田 正夫	藤盛 紀雄	高橋 富則	根本 勝男	佐々木 和栄	嘉成 儀信	鳴海 實余子	渡辺 義美	田村 フサ子	斉藤 幸夫	成田 弘子	大黒 照於	岩間 照美	柳澤 広美	成田 良子	松丸 つる子	内田 裕見子	小坂 晃	豊間 勇作	伊藤 恵美子
二十四班	二十三班	二十三班	二十二班	二十二班	二十班	二十班	十六班	十六班	十六班	十四班	十四班	十三班	十三班	十三班	十一班	十一班	十班	十班	八班	八班	八班	八班	八班	六班

「役員街頭宣伝活動」

今年度も役員による「街頭宣伝活動」を実施しています。

田代「たけのこ祭り」、イオンスーパーセンター、いとくシヨツピングセンター、扇田と大館の市日でもチラシ配布を実施しました。

十月にニプロハチ公ドームの「大館圏域産業祭」で行った時は、「大館市高齢者活躍支援協議会」の女性職員二名も応援に駆けつけて下さり、ポケットティッシュや花の種の入ったチラシを大勢の来場者に配って宣伝しました。

次は、一月二十六日の「比内とりの市」会場で実施します。見かけたら声を掛けてください。



ドームで宣伝活動

お知らせ

●新春「麻雀大会」のご案内

- ・期 日 平成31年1月25日(金)
- ・時 間 8時45分集合
- ・会 場 シルバー人材センター
- ・参加費 千五百円(賞品、昼食代)
- ・募集人数 先着二十人
- ・申込みは事務局へ49-4088

●確定申告の季節です

- ①シルバー配分金は、公的年金と同種の「雑所得」です。
- ・年金と配分金所得のみの方は、六十五万円の特例控除があります。
- ②一方、「労働者派遣事業」で働いた方は「給与所得」になります。
- ・秋田県シルバー人材センター連合会から「源泉徴収票」が送付されますので、配分金とは区別し、「給与所得」として申告してください。

●地域班会議に参加を

- ・担当の班長・副班長さんから「地域班会議」の案内があります。
- ・意見交換の良い機会ですので、

是非参加して下さい。

●会員登録の継続と年会費自動引落しのお願

- ・二月中に、平成三十一年度年会費の自動引落し事務の關係で、継続して会員登録していただけるか、又は退会されるか、確認のための「通知文書」が配布されます。
- ・退会せざるを得ない方は「退会届」の提出をお願いします。
- ・なお、期日までに退会届が提出されない場合は、継続して会員登録するものと致します。
- ・継続して会員登録される方は、届出不要です。
- ・※なるべく退会しないようお願いします。
- ・継続会員登録の場合、「ゆうちょ銀行」の口座から年会費が自動引落しされます。手数料と年会費で3025円です。三月下旬に手続きをする予定ですので、通帳に残高不足の無いようお願いします。

●入会促進に協力を

- ・会費規程を一部改正しました。
- ① 一・二月入会↓半額

② 三月入会↓全額免除

- ③ 夫婦会員↓配偶者のどちらか一方を半額。(入会初年度に限る)
- ・会員の皆様、友人・知人、奥様・旦那様にも入会を勧めてください。
- ※夫婦会員は二十四組あります。

●三月の入会説明会

- 三月六日(水)
- 三月十三日(水)
- 三月二十七日(水)
- ※四月以降、毎月第二・第四水曜日に開催します。(午前十時開始)

●配分金支払い日

- 十二月分↓一月三十一日
- 一月分↓二月二十八日
- 二月分↓三月二十九日
- 三月分↓四月三十日
- 四月分↓五月三十一日
- 五月分↓六月二十八日
- 六月分↓七月三十一日

表紙の写真

・アメッコ市は、天正十六年(1588年)から行われていた小正月行事。
 ・ミスキの枝に鉛を付け、稲穂に見立てて神前に供える農家の風俗行事が始まりとされ、田代岳の守り神・白ひげ大神がアメを買いに山を下りてくる、と言われています。

編集後記

新年あけましておめでとうございませう。会員の皆様には、お健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

会報第七十六号の発行に際しましては、大館市長はじめ会員の皆様方から多数のご寄稿を頂き、誠にありがとうございました。

さて、昨年の嬉しい出来事は、第百回全国高校野球大会で金足農業高校が県代表として百三年ぶりに準優勝した事です。国民に感動と元氣と爽快感を与えてくれました。

県立高校で、しかも地元出身者ばかりの雑草軍団が、全国の私立強豪校を次々と打倒したことは、奇跡的な出来事として長く語り継がれるでしょう。私たち会員も、一丸となって目標に向かえば夢は叶うものだと思わせる出来事でした。

金足農業野球部の躍動を糧に、今年一年まずは健康を保持して仕事に励み、学びも、遊びも充実した年にしたいと思えます。

地域に貢献するシルバー事業の発展のために、会員の皆様の健康とご活躍をお祈り申し上げます。

三浦、安田、伊藤、畠山、木越、山本